

日本レンゲの会 事務局会議報告

(2007年6月15日 大田区 田園調布駅前)

1. 経過報告

(1) 第22回レンゲまつり大和

2007年4月29日(日)昭和の日

神奈川県大和市下和田やまとふれあいの里 入場無料

8:45 後藤・西村・佐藤 高座渋谷駅集合 下りホーム改札口待合せ
コンビニで氷3袋/ミネラルウォーター2リットル3本購入

9:00 会場到着 設営開始 日本レンゲの会の旗を立てて置く
その後 事務局(3人以外)現地集合

10:00 「やまとふれあいの里レンゲまつり」開会式 事務局参加

10:30 春風亭華柳師匠到着 寄席準備開始 音響装置有(無料借用)

10:30 レンゲ教室 田に生育する植物についてなど随時説明

11:00 出前寄席春風亭華柳落語独演会 子ども用簪15本持参 司会 佐藤
制作協力 スタッフ21 橋口勇三郎

12:00 日本レンゲの会総会/世界レンゲの会総会 司会 西村

* 挨拶 木村名誉会長(運動の経過について等 金沢から参加)

後藤副会長(設立時を振り返って・レンゲ復活の歩みについて/元朝日新聞記者/発足総会の朝日新聞家庭面記事「野にみちよレンゲ草」執筆)

* 蜜蜂たちの危機の報道と半径2km内に2ヶ所の蜜源確保運動について 西村

* 日本レンゲの会 経過報告・会計報告・役員改選・根粒菌について 佐藤
会報報告の通り 役員の職業等の肩書き変更はホームページに随時掲載

* 世界レンゲの会 経過報告 会計は当該年度単独特別会計で処理 佐藤

* 昼食・交流会 参加者自己紹介 司会 佐藤

お茶・ジュース・ビール・つまみ各種を模擬店で購入 レンゲ酒試飲

14:00 清掃 解散 田圃に生ゴミなどを残さない様に注意

15:00 交流会 高座渋谷駅前(実費)

< 当日持参したもの >

幟 10 枚・竿 10 本/ビニールシート 2 枚(大和市にも要請中) /東京レンゲの
会横断幕//会報 200 部/レンゲ料理レシピ 20 部/日本におけるレンゲの栽培
管理 20 部/みどりの感謝祭パンフレット 20 部//軍手 2 /紐・紙テープ・セ
ロテープ/キズテープ/テーブル下敷き用板//師匠めぐり・バインダークリ
ップ・前囃子テープ・カセットテープレコーダー・予備電池//箸・紙コッ
プ・紙皿//紙ナプキン大 1・ウエットティッシュ・ミニタオル 2 枚・冷却用
折りたたみ容器//つまみ・子ども用菓子//色紙 16 枚・下書き用 6 枚/短冊
15 枚・下書き用 10 枚 10 冊/筆ペン太字用 1 中字用 1 /鋏/紙袋小 20 以上
金沢、横浜、東京、埼玉から多くの方に参加して頂きました。

お礼の挨拶は、翌日、電話・メール・手紙で致しました。

率直な感想をお聞きし、反省と来年への展望を描くことが出来ました。

参加者の中には、連休で、お孫さん連れの方もおられました。

都内からは結構時間が掛かり、湘南海岸にあれほど近いとは思いませんで
したとの感想がありました。

埼玉県・東京 23 区からご参加頂いた方々から、友人と参加したいので、来
年は東京で開催して欲しいとの意見が寄せられました。

要介護者が自宅に戻られている中、友人誘い合わせで参加して下さった方
もおられました。

何度かお会いしていると、メールでの連絡もしやすくなります。さらに相
手の方が、メールで感想を寄せて下さることもあります。

(2)第 6 回多賀城レンゲまつり 入場無料

5 月 13 日(日) 南宮集会所 隣接のレンゲ田

会場は、東北本線陸前山王駅から徒歩 5 分

8 : 30 集会所鍵借用

8 : 45 準備開始

10 : 00 レンゲの摘み取り レンゲ教室

11 : 30 レンゲ料理の試食会(チャーハン・味噌汁・お浸し・天ぷら・ゼリーを
100 食用意)

随時レンゲ教室

昨年僅かしか発芽しなかった住宅地に、根粒菌を塗して播種しました。
水捌けが良いので発芽状況が良く赤い茎のレンゲが多いです。

< 多賀城の生育状況と経緯 >

昨年の種蒔は10月9日で、一昨年より8日遅かったのですが、大雨の後に蒔いたので、水による被害は最小限ですみました。農家の方が水捌け様の水路を作って下さったお陰です。畑のほうは、水の被害はありませんでした。

4月23日(月)、3月末の生育状況と比べてもそれ程茎は伸びていません。暖冬の寒暖繰り返しの影響が出ているのではないかと思います。それでもところどころで花が咲き始めました。暖かい空気が流れてくるところは開花が早いようです。

5月11日(金)、レンゲ田と住宅地内のレンゲ畑に行き、その生育状況の違いから自然の恵みと厳しさを学びました。4月23日と比較すると、どちらも一気に咲き受粉した花が増えた様子が判ります。田圃は、水に浸かり消えたところ以外は、一様に咲いていますが、受粉具合と咲き方は通常のばらつきです。住宅地のレンゲは、道路に近いところと生活から出る温風の流れるところは、花が咲き受粉し種も出来かけています。どこからどの方向へ暖かい風が流れているかも生育に大きな影響を与えている様です。この違いの観察を続けなければなりません。

5月12日(土)、東北放送「ウォッチン！みやぎ」で紹介して頂きました。昨年のレンゲ料理の映像も流して頂き、深く感謝致しております。

昨年まで、行事を共に支えて下さった方の中に、仕事などで参加出来ない方がありました。その為、試食会の準備は全てお任せしました。田圃の中で説明をしながら、今年のレンゲは背丈が低いことに気付きました。4月の天候不順の影響を受けたのかもしれませんが。他の草のほうが伸びていました。

種蒔は、農作業と田圃の管理方法に合わせて行い、不耕起の田もあります。そこには、水溜りや枯れ草以外のところから、毎年自然に発芽します。それに追い蒔きしていますので開花時期が長くなります。レンゲは、枯れると田圃に鋤き込むのが大変になりますので、種が出来る前に鋤き込みます。その方が、窒素成分の土壌への固定が多くなります。

マメ科以外の草花を除草する薬を散布すれば、さらにきれいになるのですが、自然の営みを生かしたかたちで運動を続けておりますので、咲き方にむらのある田もあります。春には芹やみつばも育ちます。レンゲが繁茂しているところは横に茎が張ってから上に伸び花を咲かせます。一切農薬を使用しないで、レンゲを育てていますので、天候に左右されやすく、水に浸かり消えているところ、他の草に負けるところもあります。

5月14日(月)河北新報朝刊の記事を読まれた方々から問合せがありましたので、午後、田圃に行き趣旨を話しました。高齢者支援施設から来られた方達の

会話が楽しそうに弾んでおられました。これも、農地を耕作されておられる方々をはじめ地元の関係者の理解と協力の賜物です。

5月21日(月)住宅地の中のレンゲ畑で思わぬ状況に驚きました。4月の天候不順でもう生育が止まったかと思っていた場所で、花が咲いていました。茎が短いのは、気温と土の影響かと思われます。来年に向けて希望が見えてきました。住宅地内ですので、臭いのしない肥料を探して入れようと思います。農業政策の大きな転換の年に、新たなことを考えなければなりません。田圃での栽培も続けられるように関係各位に具体的をお願いしなければなりません。

(3) アルプスあづみの公園の状況

後藤副会長が、長野県安曇野市の財団法人公園緑地財団アルプスあづみの公園管理センターに今年の咲き具合を聞きました。根粒菌の効用で、今年は、昨年よりも生育状況が良かったので、今秋の播種面積を増やそうとのことでした。

鑑賞時期は、5月20日頃までとのことでした。

(4) 会員からの連絡

創立24年の今年は、会員の高齢化により、お亡くなりになられた連絡と退会の届けが数件ありました。

大和市レンゲまつりの際には、現地の咲具合の問合せや、東京近郊のレンゲ田に関する問合せがありました。その後は、これから見られる場所の問合せが増えています。

多賀城レンゲまつりの際には、マスコミ関係者から問合せがあり、広報多賀城をお読みになられた市民の方から参加申し込みがありました。

日本レンゲの会は、会員がそれぞれ可能な範囲で活動することによって成り立っています。会報やホームページをご覧頂き、各地での活動に役立てて頂ける様に努力します。

会報を公的機関の図書館で保存して頂いている事を知りました。統計的に有意なデータは、掲載できませんが、経験に基づく資料を公開していきます。

母の日にプレゼントと一緒にレンゲの種を送ろうと探したのですが見つからなかったので、手に入りませんかとの趣旨のメールを頂きました。後日郵送することにしました。

(5) 四季咲れんげ美濃紫雲

4月8日(日)、事務局ベランダの四季咲れんげ美濃紫雲が満開です。毎日、太陽の位置と明るさで花が開き閉じていく様を見るのが楽しみです。

留守にする時の水遣りに工夫がいらいます。開花時期は、水の吸い上げが多いので、油断すると枯れてしまいます。鉢植えなので、水捌けの良い土を選びました。その為に土中保水を長時間保てません。米の研ぎ汁をかけても直ぐに外に出てしまいます。

それに加え、注意を要するのが、レンゲは他花受粉しないと種を作らないことです。風だけでは、受粉率が低く、小さな虫も最近は少ないので花が枯れ散ってしまうこともあります。やはり、受粉には蜜蜂ですが、来ないので困っています。昨年は毎日見かけたのですが、何らかの異変が起こっているのかもしれない。

5月4日(金)朝6時過ぎふとベランダを見て驚きました。四季咲レンゲの蜜を吸いに西洋蜜蜂が来ていました。静かにしてその様子を観察していたところ、律儀な蜜の吸い方に感動しました。まだ受粉していない花弁を見つけると隣に順繰りに回っています。一つの花が終わると一寸離れて、また新しい花を探します。そこでも同様に蜜を吸っていました。午後、花を見ると、受粉して花弁が薄紫色から濃い紫色にかなり変わっていました。そこに小型の日本蜜蜂が来て、陰の方に隠れているような花の蜜を吸っていたのには、驚きました。

5月5日(土)夕方ベランダを見たところ、かなり大きな鞘の種が出来ていました。多くの花が、うす紫から濃い紫に変化し、受粉したことを蜜蜂に伝えているようです。種も出来かけています。小さい鞘や大きい鞘などまちまちです。更に受粉せずに散った花もあります。

5代目四季咲れんげ美濃紫雲の芽が5月28日(月)頃からかすかに出てきました。当初からの4鉢全てで茎が伸び始めました。今年は、黒っぽい鞘に入ったまま鉢に蒔き、土はかぶせていません。その後も小さい芽が続いて出てきています。

6月13日(水)、水を掛ける時そっとしないと、芽が土に埋もれてしまいます。花が咲いている時、様々な虫が蜜を吸いに来ましたが、今は、土中の小さな昆虫も出てきません。

(6)ホームページの運用

4月25日(水)、問合せの電話、ホームページへのアクセスが例年より多くなっています。レンゲの説明をしているところに、リンクした効果が出てきた様です。しかし、詳細の分析は出来ません。インターネットの不特定性を考えながら広報するのは大変です。皆様方のご協力に感謝申し上げます。ホームページを見ての問合せ電話も掛かってきます。毎年、この時期は、地下にもぐる時間を少なくしています。最近の携帯電話は、留守着信知らせの機能が充実しているので助かります。

(7) 養蜂関係者との交流

新聞・テレビ・週刊誌で報道された永田町での養蜂が、今月一杯で今年の採蜜を終えるとの話を聞きました。5月9日(水)西村と佐藤で見学させて頂きました。

巣箱を開けてそのうちの1枚を持たせて頂いたところずっしりした重みを感じました。天気が良く、蜜蜂が花の蜜を集めやすいので大人しいとの説明でした。

その後、蜂避けのネットを被っていたのを忘れ、蜂蜜を直接指で採って、網越しに食べてしまいました。ロイヤルゼリーも同様にして味わわせて頂きました。どちらも、市販のものより味に癖が無い様に感じました。蜂の巣を数枚遠心分離機にかけ、蜂蜜を絞るのを拝見しました。緩やかに途中で反転させ、さなぎが落ちない様にして作業するのは、慣れなければ大変だと思います。

2. 協議事項

(1) 会員への連絡

役員と会費納入会員・運動展開協力会員には、秋に、事務局会議の報告と四季咲れんげ美濃紫雲・根粒菌を郵送する。(転居転送も考慮して郵便とします) ホームページで情報公開を続けます。

(2) 種蒔と根粒菌

多賀城の、実験田と畑での活動は、現地での会費収入で今後も続けます。畑には、臭いのしない肥料を入れ、耕した後に播種します。

以前に、根粒菌を寄贈した地域では、独自に購入する様になっています。

(3) 来年のレンゲまつり

東京都心に近いところで、地域開催の経験があるところとの提携を考えます。早めに協議し、種蒔に参加するようにしたい。

出前寄席は、当会の負担で、室内でします。公共施設には、現地が主催者に加われば無料になる施設もありますので、会場費の負担は協議します。

子ども達が多い場合は、レンゲ酒の試飲は二次会にします。

養蜂関係者に、ボランティアとして参加頂けるように協議します。

レンゲ料理は、地元の判断を優先してその実施について協議します。

イベント保険掛金の負担について協議します。